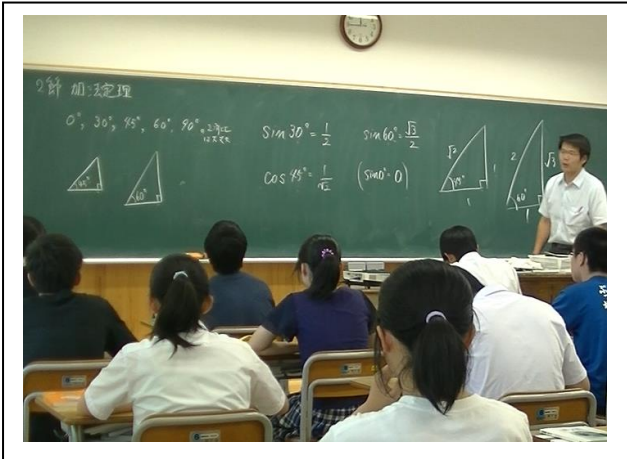


考える楽しさ、必要感や切実感を生む課題設定の工夫

## 「考えてみたい」「やってみよう」と思える授業に

教師が「今日は教科書の〇ページを開いて…」と始める授業に、生徒の「問い」はありません。子どもたちが、「どうすればいいのかな。考えてみたいな」と思える授業の導入にチャレンジしてみました。



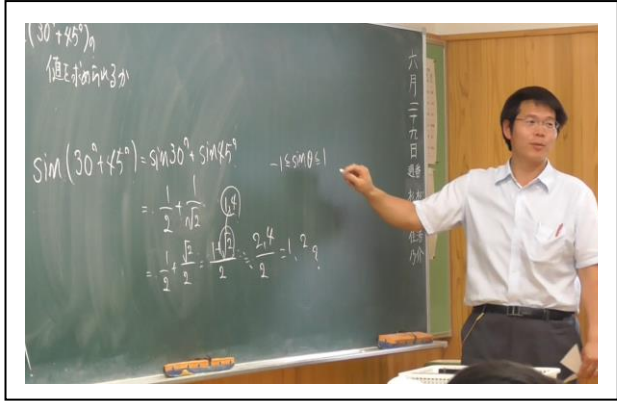
三角定規の角を話題に取りあげ、既習の三角関数について振り返りながら、三角定規にはない角度に着目させていきました。

このやり取りを通して、生徒は、三角定規にはない角度について、正弦や余弦の値はどう考えればよいのか興味をもちはじめました。

三角定規に  $75^\circ$  はないからなあ



誤答によく見られる分配法則を用いて求める方法について、得られた値について全員で吟味することで、この考え方では求めることができないことを確認しました。



$\sin 75^\circ = \sin(30^\circ + 45^\circ)$   
分配法則にあてはめると、値が1より大きくなるからおかしいね。どうしたら求められるのかな？



生徒の問いを生かした学習課題

では、どうすれば  $\sin 75^\circ$  の値を求められるのだろうか？



本時の課題が、生徒にとって、自分ごとになっているかどうか大切です。

### アクティブ・ラーニングの視点による授業改善のポイント

既習内容を振り返りながら、本時の学習内容を想起させるなど、「教材との出会い」の場を工夫することで、生徒の「問い」を引き出します。学習内容の焦点化を図るため、生徒のつまずきやすい場面をあえて導入場面に取り上げています。